

(第 20 回)
パーソナル先端商品の利用状況

(調査結果の概要)

2005年4月

社団法人 中央調査社

パーソナル先端商品の利用状況

2005年4月
社団法人 中央調査社

社団法人 中央調査社は、全国2,000人の20歳以上男女個人を対象とする調査から、「家庭向け・個人向け先端商品の利用率、利用意向率」をまとめました。調査時期は2005年3月、回収率は66.9%（有効回収1,337人）です。この調査は1986年11月から毎年行っており、経年比較によって各商品の伸長などを読み取ることができます。

今回の調査結果からみた主なポイント

- 「DVDプレーヤー」「デジタルカメラ」とも4割弱の利用、「液晶テレビ」は1割に
1. AV関連機器等では、「BS放送用受信装置」は前回並みだが、3人中1人の普及、前回急増の「ケーブルテレビ」の利用率は2割台と横ばい。「BSデジタル放送用受信装置」「CS放送受信装置」は順調に伸長しているが、伸び率は大きくない。前回から開始した「地上デジタル放送用受信装置」は3.0%の利用率。
 - ・前々回から調査した「液晶テレビ」は増加傾向で1割に達し、「プラズマテレビ」は2.6%の利用率。「ビデオカメラ」の利用は微減して3割超の利用率。
 - ・増加傾向の「デジタルカメラ」はさらに5ポイント増加して4割近くに達した。「MDプレーヤー」は順調に伸長し、3割台に乗せ、「DVDプレーヤー」の利用率も順調に伸長して4割近くの利用率となった。「家庭用ゲーム機」は横ばいの27.5%、今回から調査開始した「携帯用ゲーム機」は14.3%の利用率。
 2. パソコン関連機器では、「ノート/ブック型」の利用率は27.4%、増加傾向にあり、「デスクトップ型」は今回やや減少して、両者の利用率は肩を並べた。「パソコン用プリンター」は微減、「スキャナー」は漸増傾向、「パソコン(計)」の利用率は横ばいの48.7%と、5割近い。

「パソコン(計)」の利用率は、5割弱(48.7%)、利用意向も引き続き高い
 3. 通信関連等では、「インターネットの利用」は横ばいの3割台半ば、「ブロードバンド回線の利用率」はさらに5ポイント増加して21.9%と2割を超えた。「インターネット電話(IP電話)」の利用率は6.8%。
 - ・「携帯電話(計)」は微増して、7割近くの利用率(69.0%)。携帯電話のうち、「カメラ、TV電話、音楽配信などの機能付き携帯電話」は、微増して42.5%の利用。
 - ・「家庭用ファクシミリの利用」はさらに増加して、4割近い(37.5%)。

(新規)利用意向は、「液晶テレビ」「プラズマテレビ」が高い
 4. 今後の(新規)利用意向は、前回に続き「液晶テレビ」が14.5%と最も高く、以下、「プラズマテレビ」が13.0%、「パソコン(計)」が10.5%、「ノート/ブック型パソコン」「地上デジタル放送用装置」が各7.0%、「BSデジタル放送用受信装置」が6.4%、「DVDプレーヤー」が5.7%などが上位を占める。

前回との比較では「液晶テレビ」「プラズマテレビ」「パソコン(計)」の利用意向が引き続き1割を超えた高率となっている。

1. 利用率（図表1）

- ・ A V関連機器等のうち、「B S放送用受信装置」は前回並みの 33.8%で、3人中1人の利用率。「C S放送用受信装置」は7.0%、「B Sデジタル放送用受信装置」は6.8%、ともに漸増傾向だが、伸び率は大きくない。前回から調査開始した「地上デジタル放送用受信装置」は3.0%の利用率となっている。前回大きな伸びがみられた「ケーブルテレビ」は20.6%と2割台を保持。前々回から調査した「液晶テレビ」はさらに微増して1割（10.0%）に達し、「プラズマテレビ」は2.6%の利用率である。
 - ・ これまで増加傾向の「デジタルカメラ」は前回よりさらに5.1ポイント増加し、4割近く（39.0%）に達し、「ビデオカメラ」は31.2%の利用率で前々回の水準に戻った。
 - ・ 「M Dプレーヤー」も順調に伸長して、32.2%と3割を超え、「携帯メモリーオーディオ（i-podなど）」は微増の2.6%となっている。
 - ・ パソコン・ゲーム機の機能を含めた「D V Dプレーヤー」は順調に伸長して4割近く（38.0%）となり、「ハードディスクレコーダー」も増加して6.9%、「家庭用ゲーム機」は27.5%で横ばい。今回新たに調査を開始した「携帯用ゲーム機」は14.3%と1割台の利用率。
-
- ・ パソコン関連機器では、前回大きく増加した「パソコン(計)」は前回と同水準の48.7%、5割近くの利用率。パソコンのうち、「デスクトップ型(据え置き型)」はやや減少して27.8%、前回増加した「ノート/ブック型」はさらに微増して27.4%となり、「ミニノート型」は8.2%で漸増傾向にある。「ノート/ブック型」の利用率は調査開始以来、「デスクトップ型(据え置き型)」を下回っていたが今回同水準、今後の動向が注目される。
 - ・ 「パソコン用プリンター」は38.3%と4割近くを保持、「スキャナー(13.8%)」は引き続き漸増傾向を示している。「携帯型情報端末(PDA)」は3.2%の利用率。
-
- ・ 通信関連等では、前回増加した「インターネットの利用」は、34.0%の利用率で、「パソコン利用者」でみると、7割(69.8%)の利用となる。3年前から調査開始した「ブロードバンド回線の利用(ADSL、光ファイバー、CATV)」は前回より4.7ポイント増加して21.9%と順調に伸び、「インターネットの利用者」の6割超(64.4%)の人が“ブロードバンド・ユーザー”となった。前回から調査開始した「インターネット電話(IP電話)」の利用率は6.8%に伸長した。
 - ・ 前回大きく増加した「携帯電話(計)」は微増の69.0%と7割の利用率に近づいた。携帯電話のうち、「カメラ、TV電話、電子マネー決済、音楽配信機能付き携帯電話」が微増して42.5%と4割を超えた。逆に、「前記機能付きを除く携帯電話」が32.2%で、減少傾向で、「カメラなど機能付き携帯電話」に移行している。一方、「PHS」は2.4%の利用率で、ここ3年間は2~3%にとどまっている。
 - ・ これまで増加傾向の「家庭用ファクシミリ」は前回より微増の37.5%と、4割近い利用率となった。

2 利用意向率（図表1）

- ・次に、これらの機器を「これから先、新たに利用したい」と思う人の比率をみると、上位のものから順に、前々回から調査開始した「液晶テレビ」が14.5%と、前回に引き続き最も高く、次いで、「プラズマテレビ」が13.0%、「パソコン（計）」が10.5%、これらが1割台の利用意向と高く、以下、やや離れて「ノート/ブック型パソコン」、前回から調査開始した「地上デジタル放送用受信装置」とともに7.0%、「BSデジタル放送用受信装置」が6.4%、「DVDプレーヤー」が5.7%、「デジタルカメラ」が5.2%、「CS放送用受信装置」が5.1%などの順に高く、今後の利用意向はAV関連機器等分野に多い。
- ・パソコンの新規利用意向の内訳では、「ノート/ブック型」が7.0%と堅調、「ミニノート型」が1.9%、「デスクトップ型」が2.3%となっている。「携帯電話」の内訳では「カメラ等の機能付き」が2.5%、「機能付き以外」が1.3%で、「携帯電話（計）」で3.8%と普及が一巡したためか、利用意向は大きくない。

3 年代別の特徴（図表2）

（利用率）

AV関連機器等については、

- ・「BS放送用受信装置」の利用率は、いずれの年代でも3割弱～4割（28.4～40.6%）と高く、年代差は比較的小さい。前回急増した「ケーブルテレビ」は各年代で1割台後半～2割台（15.6～27.9%）の利用率となっている。
- ・「ビデオカメラ」は年代差が大きく、30～40代での利用率が高く、5割（49.9～51.8%）を占める。「デジタルカメラ」も同様な傾向で、30～40代で6割近く（56.3～58.8%）を占めるが、60歳以上では1割台（16.3%）にとどまる。
- ・「DVDプレーヤー」、「MDプレーヤー」はともに20代の利用率が最も高く、順に6割（59.7%）、5割（50.1%）の比率で、いずれも年代差が大きい。また「DVDプレーヤー」は30～40代での利用も半数（54.4～54.8%）を超えている。「家庭用ゲーム機」は若年層ほど利用率が高く、20代では6割近く（57.38%）を占めて年代差が大きい。「携帯用ゲーム機」は20～40代で2割台（22.6～25.9%）の利用となっている。

パソコン関連機器では、

- ・「パソコン（計）」は年代差が大きく、20～40代での利用が6割台（65.1～68.1%）の比率に対して、60歳以上では2割台（22.3%）となっている。
- ・「パソコン用プリンター」「スキャナー」はともに30～40代（前者53.2～54.5%、後者21.1～22.4%）を中心に高い。

通信関連等では、

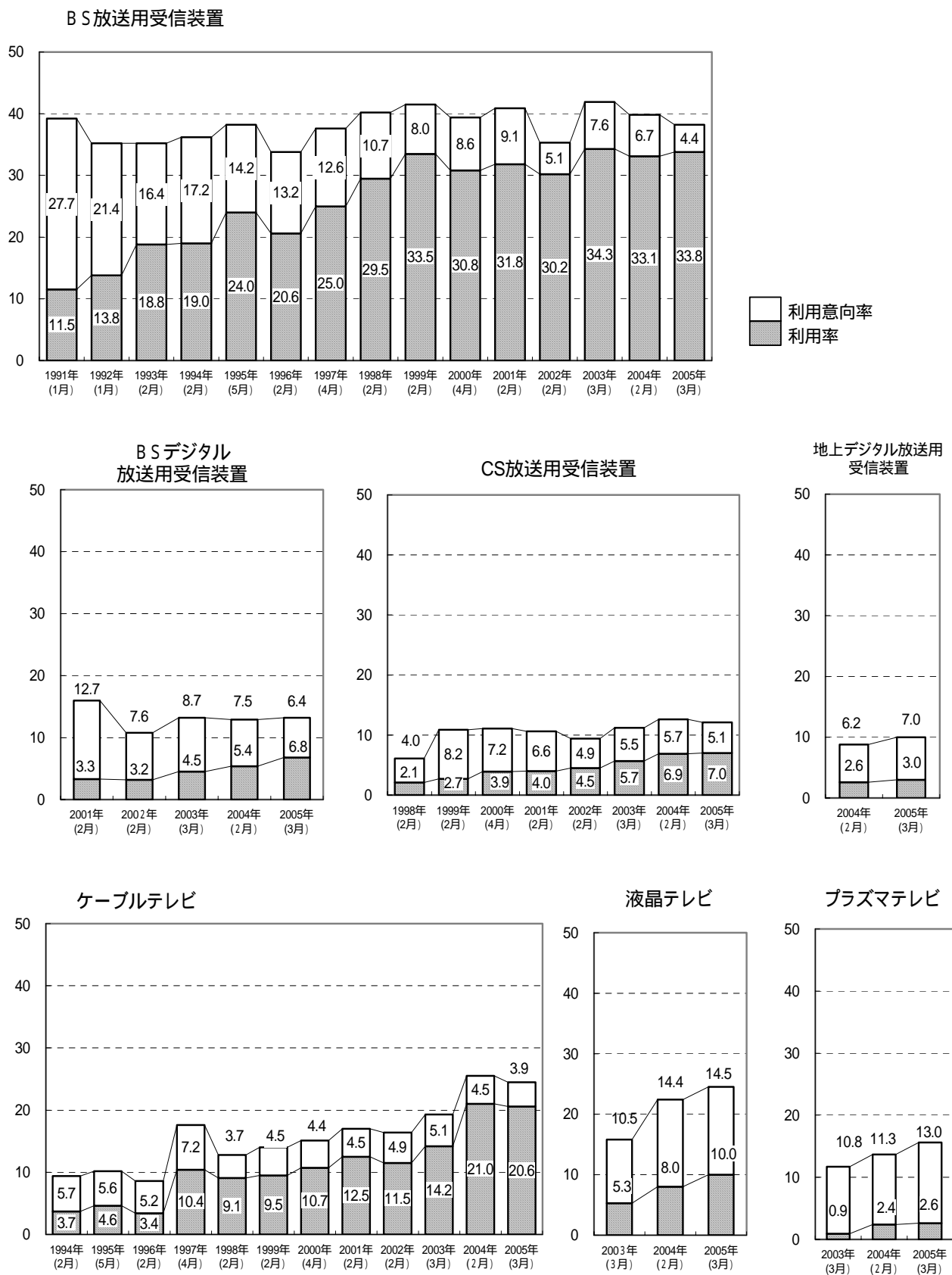
- ・「インターネットの利用」は20～40代でほぼ5割（49.4～50.5%）、50代でも3割弱（28.7%）の利用率、前回伸長の大きかった「ブロードバンド回線の利用」は20～40代（30.7～36.2%）でいずれも3割台の利用率で、両者とも年代差がみられる。
- ・「携帯電話（計）」は年代差が大きく、20～40代で9割近く（87.0～89.5%）、50代で7割（69.1%）、60歳以上でも4割近く（38.0%）と今や生活の必需品といえよう。そのう

- ・「カメラなどの機能付き携帯電話」の利用率は20代の7割弱(68.4%)が最も高い。
- ・「家庭用ファクシミリ」は30～40代での利用率が5割(49.1～50.3%)と高い。

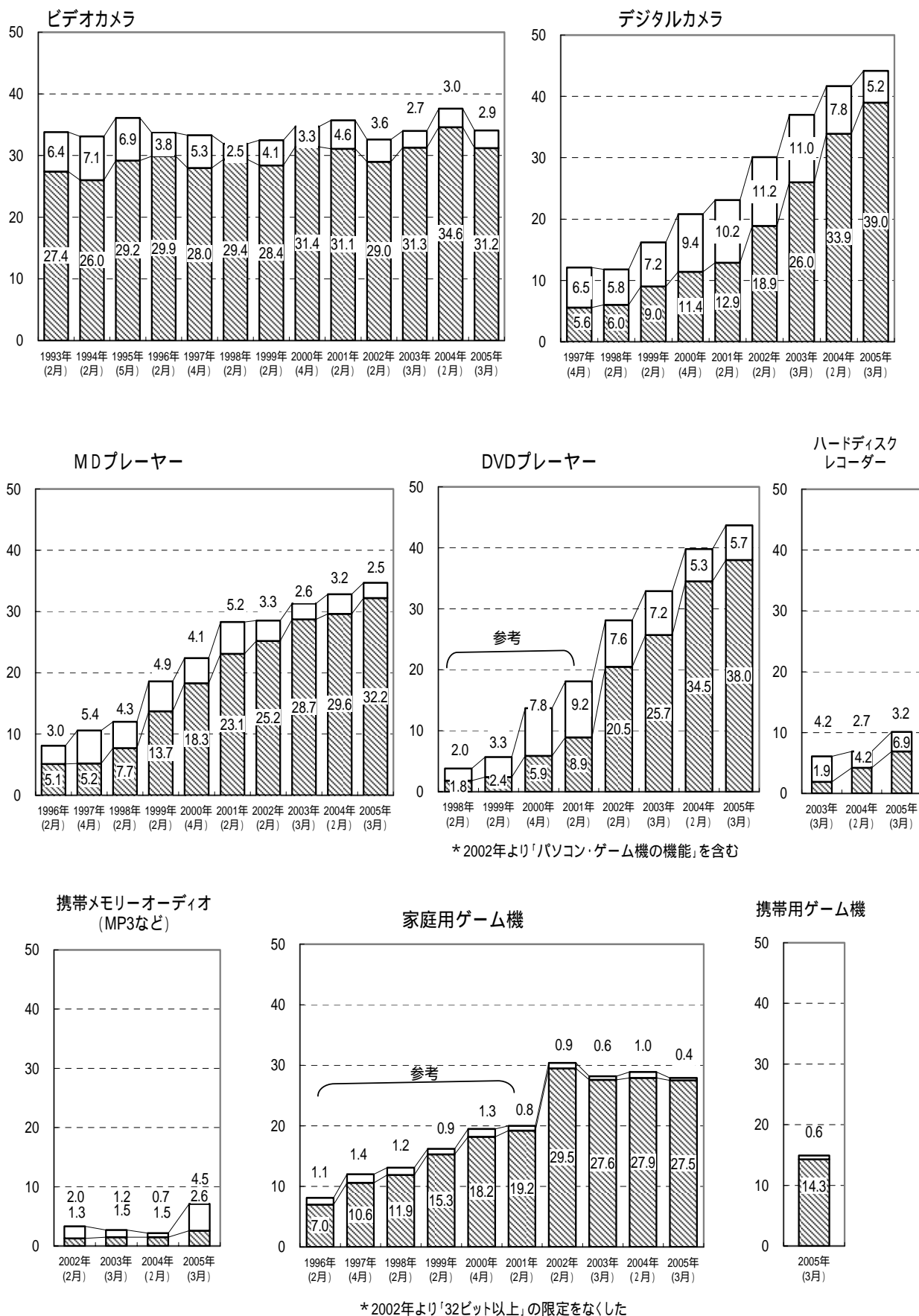
(利用意向率)

- ・ AV関連機器等では、利用意向率で上位1～2位を占めた「液晶テレビ」「プラズマテレビ」は60歳以上を除きいずれの年代でも1割以上と高く、前者は40代で21.6%、後者は30代で24.8%と最も高く、今後の伸長が大いに期待される。そのほか、20代で「携帯メモリーオーディオ(i-podなど)」(11.4%)、「CS放送用受信装置」(11.1%)、30代で「地上デジタル放送用受信装置」(11.1%)、「DVDプレーヤー」(10.8%)がそれぞれ1割以上の利用意向と高い。
- ・ パソコン関連機器では、「パソコン(計)」をはじめとして、いずれの型式でもおおむね若年層に利用意向が高く、特に20代で「パソコン(計)」が2割近く(19.0%)、「ノートブック型パソコン」が1割強(12.0%)と最も高くなっている。「パソコン用プリンター」も20代(5.4%)で高い。
- ・ 通信関連等では、「インターネットの利用」は20代で6.3%の利用意向、「ブロードバンド回線の利用」は30代で6.4%と高く、他の年代を上回っている。「携帯電話(計)」の新規利用意向は40代(5.6%)が中心となっており、家庭用ファクシミリは30代(3.5%)に高い。

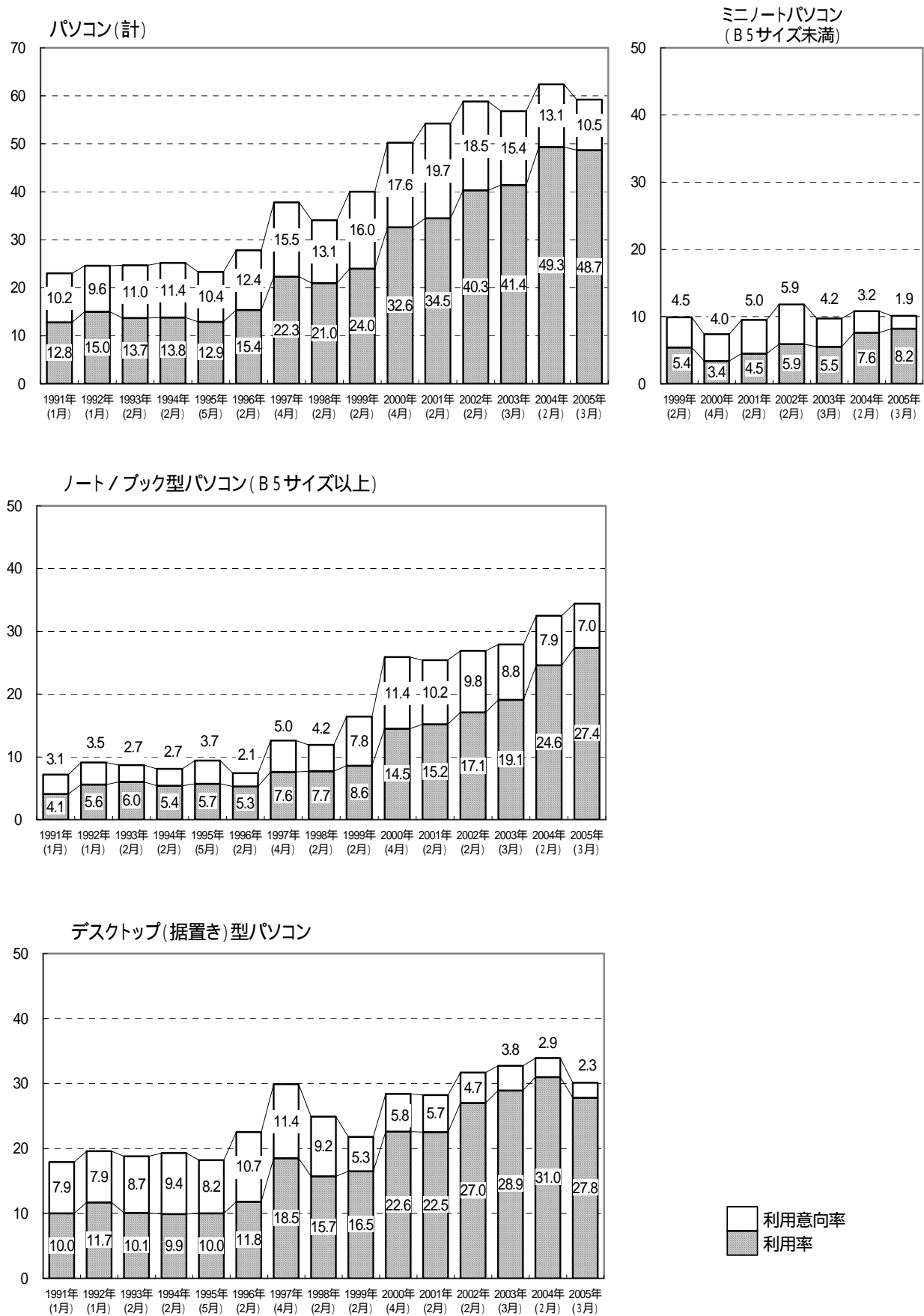
図表1 パーソナル先端商品の利用率・利用意向率



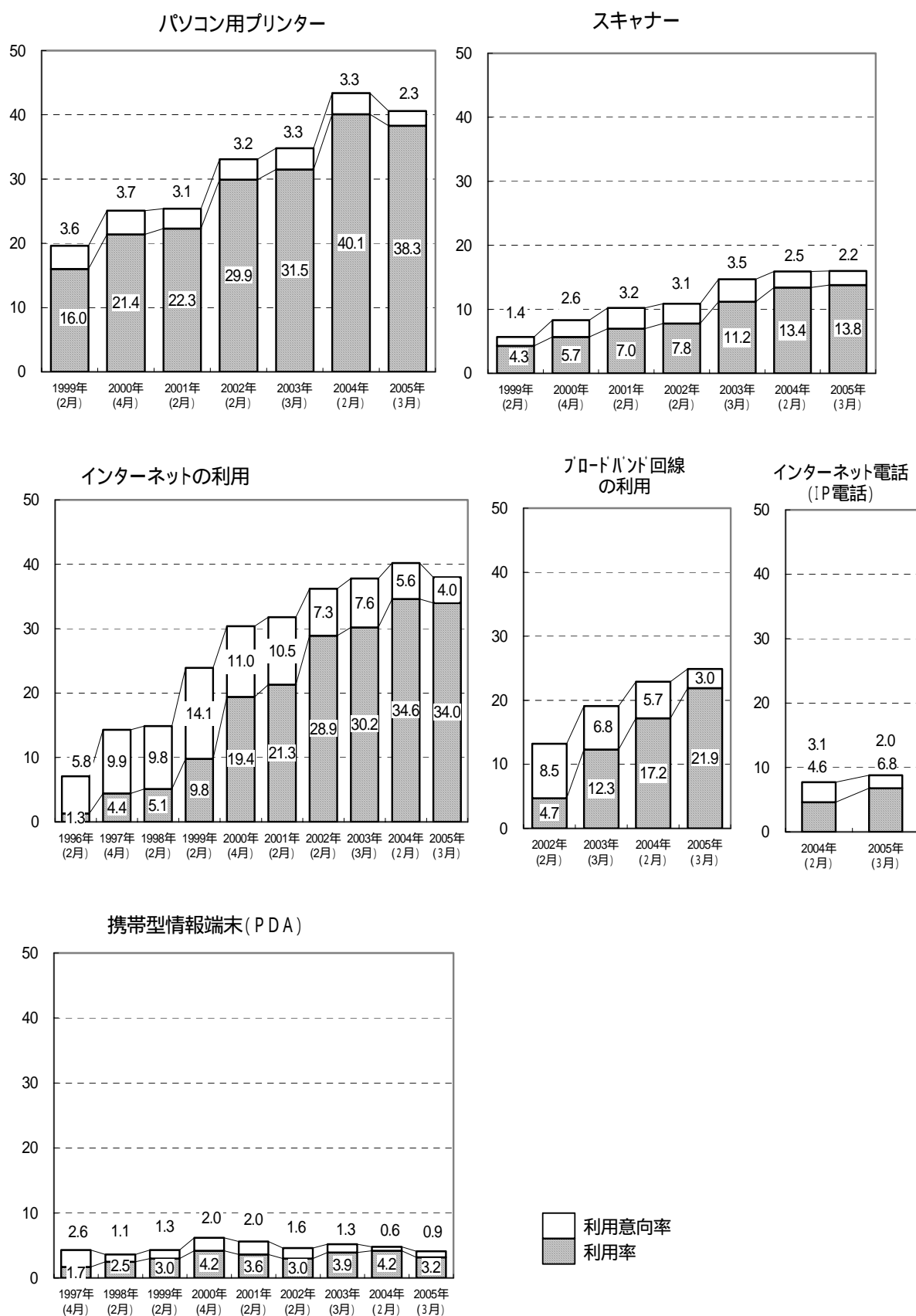
図表1 パーソナル先端商品の利用率・利用意向率(つづき)



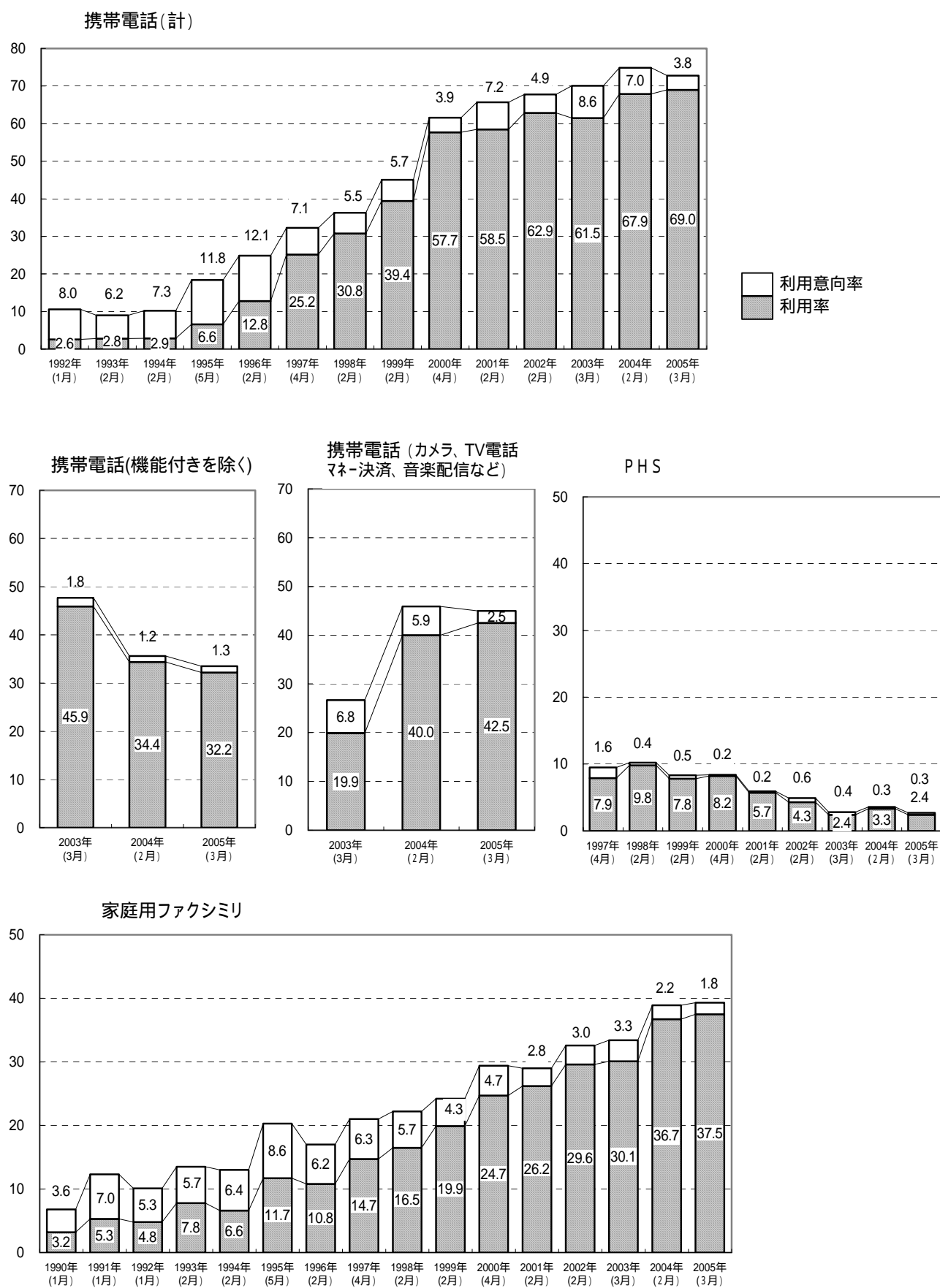
図表1 パーソナル先端商品の利用率・利用意向率(つづき)



図表1 パーソナル先端商品の利用率・利用意向率(つづき)



図表1 パーソナル先端商品の利用率・利用意向率（つづき）



図表2 年代別利用率・利用意向率

		B S 放送受信装置	B S デジタル放送受信装置	C S 放送受信装置	地上放送用受信装置	ケーブルテレビ	液晶テレビ	プラズマテレビ	ビデオカメラ	デジタルカメラ	M D プレーヤー	D V D プレーヤー	ハードディスクドライブ	携帯メモリーオーディオ	家庭用ゲーム機	携帯用ゲーム機
利用率	全体	33.8	6.8	7.0	3.0	20.6	10.0	2.6	31.2	39.0	32.2	38.0	6.9	2.6	27.5	14.3
	20代	30.5	8.7	10.5	4.1	18.5	11.9	2.0	28.0	50.9	50.1	59.7	5.8	5.5	57.3	22.6
	30代	28.4	5.0	11.4	1.8	25.7	10.5	2.4	51.8	58.8	41.9	54.4	13.4	3.5	46.5	25.2
	40代	35.2	7.8	8.9	2.9	27.9	11.6	4.3	49.9	56.3	48.9	54.8	9.7	3.2	38.8	25.9
	50代	40.6	7.2	6.0	2.8	20.1	11.2	3.8	27.1	33.5	30.4	32.5	6.9	2.7	13.0	8.4
	60歳以上	33.8	6.2	2.5	3.2	15.6	7.3	1.4	14.6	16.3	10.2	12.4	2.7	0.2	4.2	1.7
	(年代差)	(12.2)	(3.7)	(8.9)	(2.3)	(12.3)	(4.6)	(2.9)	(37.2)	(42.5)	(39.9)	(47.3)	(10.7)	(5.3)	(53.1)	(24.2)
利用意向率	全体	4.4	6.4	5.1	7.0	3.9	14.5	13.0	2.9	5.2	2.5	5.7	3.2	4.5	0.4	0.6
	20代	4.1	3.7	11.1	5.6	5.0	15.7	15.4	4.1	6.9	2.9	6.1	5.6	11.4	0.6	2.3
	30代	4.1	9.7	6.4	11.1	9.3	17.6	24.8	2.9	5.6	5.0	10.8	5.8	4.4	0.0	1.2
	40代	6.2	9.3	6.1	9.5	4.3	21.6	18.2	3.2	5.4	2.3	8.9	3.5	5.8	0.0	0.0
	50代	6.5	7.7	3.6	7.6	2.8	13.1	10.3	4.3	6.4	1.9	3.9	2.7	2.4	0.6	0.3
	60歳以上	2.5	3.7	1.7	4.0	0.6	9.5	4.3	1.2	3.3	1.4	2.0	0.5	1.6	0.5	0.0
	(年代差)	(4.0)	(6.0)	(9.4)	(7.1)	(8.7)	(12.1)	(20.5)	(3.1)	(3.6)	(3.6)	(8.8)	(5.3)	(9.8)	(0.6)	(2.3)

		パソコン(計)	ミニノートパソコン	ノートパソコン型	デスクトップ型	パソコン用プリンター	スキャナー	携帯型PDA端末	インターネットの利用	ブロードバンドの回線	インターネット電話	携帯電話(計)	携帯機能付きを除く	携帯電話(カメラなど)	P H S	家庭用ファクシミリ
利用率	全体	48.7	8.2	27.4	27.8	38.3	13.8	3.2	34.0	21.9	6.8	69.0	32.2	42.5	2.4	37.5
	20代	65.1	14.8	36.1	33.9	45.9	15.1	6.0	49.6	36.2	8.2	88.8	28.2	68.4	3.7	34.9
	30代	66.4	8.2	40.6	36.5	53.2	21.1	5.8	49.4	33.0	12.0	89.5	35.7	61.1	2.3	50.3
	40代	68.1	13.8	39.4	40.6	54.5	22.4	2.3	50.5	30.7	12.7	87.0	37.8	56.5	3.7	49.1
	50代	46.0	7.2	21.5	29.9	36.9	13.2	2.1	28.7	17.5	4.3	69.1	39.4	36.5	1.5	41.1
	60歳以上	22.3	2.6	13.0	12.2	18.8	5.1	1.3	12.3	6.3	1.8	38.0	25.3	15.1	1.6	23.9
	(年代差)	(45.8)	(12.2)	(27.6)	(28.4)	(35.7)	(17.3)	(4.7)	(38.2)	(29.9)	(10.9)	(51.5)	(14.1)	(53.3)	(2.2)	(26.4)
利用意向率	全体	10.5	1.9	7.0	2.3	2.3	2.2	0.9	4.0	3.0	2.0	3.8	1.3	2.5	0.3	1.8
	20代	19.0	4.7	12.0	3.2	5.4	3.7	0.0	6.3	5.0	0.9	4.4	1.5	2.9	0.0	0.6
	30代	13.5	0.9	7.6	6.1	2.0	3.5	0.3	4.4	6.4	3.8	3.5	1.2	2.3	0.0	3.5
	40代	13.2	3.7	7.6	2.3	2.8	2.3	1.0	5.2	2.9	2.9	5.6	2.3	3.3	0.0	2.8
	50代	9.2	1.3	7.2	1.1	1.2	2.1	1.6	4.7	2.2	1.4	3.9	1.4	2.5	0.6	2.2
	60歳以上	3.9	0.5	3.6	0.3	1.1	0.6	1.1	1.4	0.6	1.6	2.7	0.8	1.9	0.5	0.7
	(年代差)	(15.1)	(4.2)	(8.4)	(5.8)	(4.3)	(3.1)	(1.6)	(4.9)	(5.8)	(2.9)	(2.9)	(1.5)	(1.4)	(0.6)	(2.9)

(調査品目および質問項目)**〔今回の調査品目〕****(注) 前回からの変更点**

[1] B S 放送受信装置 (N H K 第一、第二など)	変更なし
[2] B S デジタル放送用受信装置 (B S 朝日、B S フジ、B S ジャパンなど)	変更なし
[3] C S 放送用受信装置 (スカイパーフェク T V ! など)	変更なし
[4] 地上デジタル放送用受信装置	変更なし
[5] ケーブルテレビ (C A T V ・有線テレビ)	変更なし
[6] 液晶テレビ	変更なし
[7] プラズマテレビ	変更なし
[8] ビデオカメラ	変更なし
[9] デジタルカメラ	変更なし
[10] M D プレーヤー	変更なし
[11] D V D プレーヤー (パソコン、ゲーム機の機能も含む)	変更なし
[12] ハードディスクレコーダー (ハイブリッドレコーダーも含む)	変更なし
[13] ミニノートパソコン (モバイルノート : B 5 判サイズ未満)	変更なし
[14] ノート / ブック型パソコン (B 5 判サイズ以上)	変更なし
[15] デスクトップ型 (据え置き型) パソコン	変更なし
[16] パソコン用プリンター	変更なし
[17] 携帯型情報端末 (P D A - ザウルス、パームなど)	変更なし
[18] スキャナー	変更なし
[19] 家庭用ファクシミリ	変更なし
[20] 家庭用ゲーム機 (プレイステーション 2、X b o x など)	変更なし
[21] 携帯用ゲーム機 (プレイステーション・ポータブル、任天堂 D S など)	今回から新設
[22] 携帯電話 (下記機能を除く)	変更なし
[23] 携帯電話 (カメラ、T V 電話、電子マネー決済、音楽配信付きなど)	今回から変更
[24] P H S	変更なし
[25] インターネットの利用	変更なし
[26] ブロードバンド回線の利用 (A D S L、光ファイバー、C A T V、無線 L A N など)	変更なし
[27] インターネット電話 (I P 電話)	変更なし
[28] 携帯メモリーオーディオ (i - p o d、M P 3 プレーヤーなど)	変更なし

注)・図表中の「パソコン(計)」は[13]～[15]を合計した利用率・意向率を表したものである。

・図表中の「携帯電話(計)」は[22]～[23]を合計した利用率・意向率を表したものである。

〔調査項目〕

前回から引き続き、以下の2項目。いずれも多項選択式

(1) 「あなた自身が持っているもの、または家において自分で使っているもの」(利用率)

(2) 「これから先、新たに利用したいもの」(利用意向率)

調 査 の 概 要

(調査設計)

(1)調査地域	全 国
(2)調査対象	20 歳以上の男女個人
(3)標本数	2,000
(4)抽出方法	層化 2 段無作為抽出
(5)調査方法	個別面接聴取法
(6)調査時期	2005 年 3 月 10 日 ~ 13 日
(7)有効回収数	1,337 (回収率 66.9%)

(属性別回収内訳)	規正標本数	構成比(N=1,337)
(1)市郡規模		%
14 大市	325	24.3
その他の市	738	55.2
町 村	273	20.5
(2)性 別		
男 性	648	48.5
女 性	689	51.5
(3)年代別		
20 代	224	16.7
30 代	234	17.5
40 代	206	15.4
50 代	253	18.9
60 歳以上	420	31.4
(4)職業別		
農林漁業	38	2.9
商工サービス業	174	13.0
事務職	231	17.3
労務職	290	21.7
自由業・管理職	33	2.5
無職の主婦	312	23.3
学 生	53	4.0
その他の無職	206	15.4

回収率の性・年代差による歪みを補正(過去のデータも同様の補正を行った)

東京 23 区及び 2004 年 4 月現在の政令指定都市

<問い合わせ先>

東京都中央区銀座 6 - 16 - 12

社団法人 中央調査社 (会長 榊原 潤)

T E L 0 3 (3 5 4 9) 3 1 2 1

(担当:調査部 阿高、山田)

* より詳細なクロス集計表を有料(1万5千円(税別))で頒布しています。